

がんがまだ「他人事」のあなたへ

子宮頸がん について知ってください



「子宮頸がん」ってどんな病気？

子宮頸がんは、子宮の入り口である子宮頸部の表面の細胞にがんができる病気です。最近、20歳代の若い方で増加傾向にあり、将来の結婚・出産を控え要注意な病気ですが、早期のうちに治療すれば90%以上が治癒します。

原因は？



性交渉でのウイルス感染が原因で、誰でも感染する可能性があります。

症状は？



初期には症状がほとんどないため、異常を感じた時には、手遅れの場合があります。



検診に行ってみよう！

20歳以上の市民の方には、2年に1度、偶数年（4月1日現在）にがん検診受診券をお届けしています。

① 電話で予約！



② 婦人科へ行こう！



③ 問診



④ 細胞を採取



あら、痛くない！

スカートが脱ぎ着しやすくしてGood！



⑤ 説明



結果は約1～3週間後に分かります。

異常なし：2年に1度は検診を受けましょう。

要精密検査：必ず医療機関で精密検査を受けましょう。

お問い合わせ先

高松市健康づくり推進課 TEL：087-839-2363

子宮頸がんにはワクチンもあります！

20歳を迎える女性のみなさんのうち、子宮頸がん(HPV)ワクチンを3回接種していない方は、令和7年3月31日までの間であれば、**無料で接種**(キャッチアップ接種)を受けることができます。

また、令和5年4月1日からは、HPV9価ワクチンの接種が可能になりました。

※ 全額自己負担で接種を行った方については、申請により払い戻しを受けられる可能性があります(9価ワクチンを除く)。制度の詳細など、右のQRコードより高松市のホームページを御覧ください。



ワクチンの効果

HPV9価ワクチンは、子宮頸がんの原因の88.2%を占める7つの型のウイルスを含む、子宮頸がんをおこしやすい9つの型のウイルスの感染を予防できます。

HPVワクチンを導入することにより、子宮頸がんの前がん病変を防ぐことができます。また、接種が進んでいる一部の国では、子宮頸がんそのものを予防する効果があることも分かってきています(厚生労働省ホームページより引用)。

接種の受け方

① 予診票の準備

キャッチアップ接種の対象となる方へは、令和5年6月下旬に予診票をお送りしています。紛失した場合、再発行できますので下記お問合せ先へ連絡してください。

② 医療機関へ予約

接種を希望する日を、医療機関へ予約してください。

③ 接種

接種日当日、予診票、母子健康手帳、身分証明書を持って予約した医療機関へ行きましょう。その日の体調やこれまでかかったことのある病気など、予診票の記入内容を医師に確認してもらい、問題が無ければ予防接種を受けることができます。



※ 極めてまれですが、予防接種を受けた方に重い健康被害が生じる場合があります。まずは、接種を受けた医師・かかりつけの医師にご相談ください。

お問合せ先

高松市保健所 感染症対策課 予防接種係 TEL 087-839-2870